

自主・創造・根気

第6号

2018. 5. 15

三田市立狭間中学校

3年生進路説明会(5/2)、お世話になりました

毎年、全国で約5万人の高校生が中途退学しています。そして、その多くは学校に適應できなかった1年生です。また、退学した生徒の中には、中学校の進路指導に対して「もっと高校のことを教えてほしかった」と思っている生徒も少なくないといえます。学校としては、できるだけ多くの正しい情報をお伝えし、生徒を中心に学校と保護者が情報や意志を共有しながら、最良の進路が選択できるように取り組んでいきます。

生徒の皆さんも、他人の意見に左右されず、周りの情報にも一喜一憂しないで、自分にあった学校を自分の意志で選んでほしいと思いますが、同時に皆さんは、行きたい学校に選ばれる存在であるということを忘れてはいけません。学校を選択するということは、その学校に選ばれる人物になるということでもあります。行きたい学校がどんな人物を望んでいるかを考え、入試まで奮励努力してほしいと思います。

*進路説明会の挨拶から

日本のホスピタリティ文化

*5月11日の全校集会から

日本でホスピタリティ文化が生まれたのは、江戸時代と言われています。

250年間の平和により、江戸の町は超人口過密都市となりました。人間だらけの江戸の町で、隣り合う人々が嫌な思いをせず円滑にコミュニケーションが取れるようにと生まれたのが“江戸しぐさ(傘かじげ、肩引き、こぶし腰浮かせ、他)”です。

心を込めて相手が望むことをすること、相手への細やかな配慮や繊細な所作こそ日本のホスピタリティです。心をもって正しいことを行う気遣いは、日本で生活している皆さんにも自然に身についています。

学校の生活環境は、江戸以上の超過密状態です。みんなが安心して気持ちよく生活するにはどうすればよいか、わかると思います。

「愛語よく回天の力あり」(道元)

人を傷つけた時、人はよく「傷つけるつもりはなかった」と言い訳します。そんな人に、あえて尋ねたい。「傷つけないつもりはあったのか」と。

つまり「人を傷つけないように自分の言動を心掛けていたか」と言うことです。自分に人を傷つけるつもりはなくても、傷つけてしまうこともあるということを理解していなければなりません。

「愛語よく回天の力あり」という言葉があります。「心のこもった温かな言葉には世の中を変えるほどの大きな力がある」ということも学びたいものです。自分の言動に責任を持つ。それが大人の社会でもあります。

FLY ~ We are HEROES ~

*今年度の生徒会のスローガン

5月14日(月)、今年度の第53回生徒総会(前期)を開催しました。

「人材は群生する」という言葉があります。「優れた人材は、特定の場所から続出する」という意味です。先輩は後輩を大切にし、後輩は先輩を見習いながら、思いを共有する仲間と切磋琢磨できることが“群生”の条件となります。

生徒会活動を通して多くの人材が育ち、羽ばたいてくれることを願っています。

【平成30年度の生徒会役員】

○執行部 会長：日谷美琴(3-1) 副会長：森本陽良(3-1)・北野真琴(3-4)
書記長：長崎呼春(3-2) 書記次長：本村美咲(3-1)

○専門委員会 代議委員長：吉房龍之介(3-3) 美化委員長：古本杏奈(3-2)
図書委員長：中山美月(3-4) 給食委員長：久保聖那(3-3)
健康委員長：平井大翔(3-1) 放送委員長：岸野羽衣(3-3)
文化委員会：藤原世捺(3-1)

「FLY」は、集団としても個人としてもこの一年間大きくはばたけるように「We are HEROES」は、学校には一人一人の役割があって、その一つ一つの役割が大切であり、全員が主役であるという意味です。このスローガンを胸に日々の学校生活を楽しく過ごしていきましょう。

*生徒総会議案書の挨拶から一部抜粋